

# 合同教育研究会議（3月10日開催）議事概要

## 1 開催日時

令和3年3月10日（水）13:00～14:32

## 2 場所

本部棟3階 特別会議室

## 3 出席者

鈴木学長、石堂副学長兼高等教育推進センター長、狩野副学長兼研究・地域連携本部長、堀江副学長兼事務局長、猪股教育支援本部長、似鳥学生支援本部長、橋本企画本部長、劉国際教育研究部長、福島看護学部長、高橋社会福祉学部長、亀田ソフトウェア情報学部長、高嶋総合政策学部長、菊池盛岡短期大学部長、松田宮古短期大学部長、川崎生活科学科長、原国際文化学科長、菅原委員（学外委員：岩手大学名誉教授）、長谷川委員（学外委員：東北大学未来科学技術共同研究センター長）（事務局）鈴木事務局次長兼総務室長、関屋教育支援室長、鎌田学生支援室長、藤澤研究・地域連携室長、藤村企画室長、高橋宮古事務局長、八木主幹、鈴木主幹

## 4 会議の概要

### 議事録確認

前回国会議2月10日の議事録（議事概要）については、原案のとおり了承された。

### 審議事項

#### （1）岩手県立大学学則の一部を改正する学則案について（資料 No. 1）

猪股本部長から資料に基づき、岩手県立大学学則の一部を改正する学則の案について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

#### （2）岩手県立大学履修規程の一部を改正する規程案について（資料 No. 2）

猪股本部長から資料に基づき、岩手県立大学履修規程の一部を改正する規程の案について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

#### （3）岩手県立大学大学院学則の一部を改正する学則案について（資料 No. 3）

猪股本部長から資料に基づき、岩手県立大学大学院学則の一部を改正する学則の案について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

#### （4）岩手県立大学大学院社会福祉学研究科履修規程の一部を改正する規程案について（資料 No. 4）

猪股本部長から資料に基づき、岩手県立大学大学院社会福祉学研究科履修規程の一部を改正する規程の案について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

委員から、社会福祉学部の履修登録単位数の上限の引き下げについて質疑があり、これに対し、高橋社会福祉学部長から、今回の改正は資格取得に関連したカリキュラ

ム改正によるものであり、前回の認証評価受審時の指摘事項については、今後も引き続き検討するとの回答があった。

委員から、大学基準協会からは理解されると思うが、教職免許を取得する学生が少ないにも関わらず、教職課程があるという理由でCAP制を外していることが問題視されていることを踏まえ、資格取得者が少ないために「ダミー」と受け取られないよう対応してもらいたいとの発言があった。

(5) 岩手県立大学盛岡短期大学部履修規程の一部を改正する規程案について（資料 No. 5）

猪股本部長から資料に基づき、岩手県立大学盛岡短期大学部履修規程の一部を改正する規程の案について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

(6) 岩手県立大学宿泊施設管理規程の一部を改正する規程案について（資料 No. 6）

猪股本部長から資料に基づき、岩手県立大学宿泊施設管理規程の一部を改正する規程の案について説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

鈴木学長から、休館日以外は開館日になるのではないかとの質疑があり、これに対し、猪股本部長から、改正の趣旨は、当初から休館日と決められているお盆や年末年始などにおいても、開館することができるという趣旨であるとの回答があった。

(7) 令和3年4月教職教育センターの設置について（資料 No. 7）

鈴木事務局次長から資料に基づき、（審議事項（9）、令和3年4月以降の学部長及び学科長等の予定者の審議の前置きとして、）12月9日開催の本会議で設置の承認を受けた教職教育センターの取組状況について報告があった。また、関屋室長から、教職教育センターの対外的な取組について、補足説明があった。

委員から、文部科学省への申請作業が順調に進んでいることへの御礼と、令和3年度からの教職教育センターの運用にあたり、各学部の責任者の参加について協力依頼があった。

(8) 令和3年4月以降の本部長及び副本部長等の予定者について

石堂副学長から、令和3年度4月以降の本部長及び副本部長等の予定者について報告があった。

(9) 令和3年4月以降の学部長及び学科長等の予定者について

石堂副学長から資料に基づき、令和3年4月以降の学部長及び学科長等の予定者について報告があった。

**協議事項**

なし

**報告事項（口頭報告）**

(1) 令和2年度岩手県立大学の就職内定状況（2月末現在）について（資料 No. 8）

似島本部長から資料に基づき、2月末時点の就職内定状況及び合同企業説明会の結果について報告があった。

鈴木学長から、各学部において合同企業説明会への学生の参加状況をチェックし、後手にならないように早めに対応するよう発言があった。

鈴木学長から、なぜ学生の就職活動の動きが遅いのかとの質疑があり、これに対し、

似鳥本部長から、昨年の就職支援サイトの活用量数が上がらないところから、コロナウイルス感染症の拡大で皆が自宅にいる、あるいは、活動を控えているから自分も大丈夫なのではないかと考えている状態が長く続いているようであり、今後は、積極的に取り組まないと首都圏の学生に負けてしまうとの回答があった。

(2) 学生センター窓口の事務取扱時間の短縮について (資料 No. 9)

鎌田室長から資料に基づき、令和3年度から学生センター窓口の事務取扱時間を短縮することについて報告があった。

(3) 科研費採択率向上支援チームの令和3年度の活動予定について (資料 No. 10)

狩野本部長から資料に基づき、科研費採択率向上支援チームの令和3年度の活動予定について報告があった。

鈴木学長から、科研費の申請は、自分の考えをまとめるつもりで作成してもらい、それを採択まで支援していきたいとの発言があった。

(4) 令和2年度北いわて産業・社会革新ゾーンプロジェクトシンポジウムの開催について (資料 No. 11)

狩野本部長から資料に基づき、令和2年度北いわて産業・社会革新ゾーンプロジェクトシンポジウムの開催について報告があった。

(5) 令和3年度北いわて・三陸地域活性化推進研究の公募について (資料 No. 12)

狩野本部長から資料に基づき、令和3年度北いわて・三陸地域活性化推進研究の公募について報告があった。

(6) 教育研究者総覧の更新について (依頼) (資料 No. 13)

狩野本部長から資料に基づき、教育研究者総覧における研究者情報の更新について依頼があった。

鈴木学長から、教育研究者総覧を入力・更新しないと科研費は採択されないことを周知するよう発言があった。

(7) 中期目標の期間の終了時に見込まれる業務の実績の評価 (見込評価) の実施について (資料 No. 14)

橋本本部長から資料に基づき、中期目標の期間の終了時に見込まれる業務の実績に関する評価に向けた自己評価報告書の作成に係る実績の報告について依頼があった。

鈴木学長から、これまでの実績を踏まえた中期目標、中期計画案の中味を検討しなければいけない時期が来るとの発言があった。

(8) 令和3年度「新入生アンケート」及び「2年次生アンケート」の実施について (資料 No. 15)

橋本本部長から資料に基づき、「新入生アンケート」及び「2年次生アンケート」の実施について協力依頼があった。

(9) 令和2年度教職員アンケートの結果について (資料 No. 16)

橋本本部長から資料に基づき、令和2年度に実施した教職員アンケートの結果について報告があった。

#### 報告事項（資料報告）

- (1) 令和3年度新学期行事日程について（資料 No. 17）
- (2) 令和2年度研究室保管図書点検実施結果について（資料 No. 18）
- (3) 西スイス応用科学大学との国際交流協定の失効について（資料 No. 19）
- (4) 管理工業大学との国際交流協定の失効について（資料 No. 20）
- (5) 令和3年度岩手県立大学大学院2次募集入学手続き結果について（資料 No. 21）
- (6) 学長奨励賞の選考結果について（資料 No. 22）
- (7) 岩手県立大学未来創造基金の活用（書籍等による感染予防啓発）について（資料 No. 23）
- (8) 令和2年度 JST 新技術説明会の開催について（実施結果報告）（資料 No. 24）
- (9) 名誉教授の称号授与について（資料 No. 25）
- (10) 「令和2年度第7回職員衛生委員会」の結果について（資料 No. 26）

#### その他

委員から、科研費の申請と研究者総覧の業績入力については、教員の義務だと思われるので、これには改めて対応いただきたいとの発言があった。

委員から、科研費の申請と研究者総覧の業績入力については、教員の義務の他に、若手教員を育成するという意味もあり、これを後押ししていく組織の姿勢が極めて重要との発言があった。

委員から、有休申請の押印を廃止できないかという相談を教員から受けているので、検討してもらえないかとの質疑があり、これに対し、鈴木事務局次長から、時間はかかるかもしれないが検討したいとの回答があった。

藤村室長から、令和3年度の本部長会議及び合同教育研究会議の開催日程を確定したことについて説明があった。